様式第3号(第12条関係)

審議会等の会議の記録

会議の名称	伊勢崎市水質に関する検討委員会 （第６回伊勢崎市水質に関する検討委員会）
開催日時	令和８年１０月２０日（火）午後２時００分～午後２時４０分
開催場所	伊勢崎市清掃リサイクルセンター21
出席者氏名	（委員６名） 片亀委員長、吹上委員、山崎委員、矢尾委員、深町委員、本田委員 ※欠席者　宮里副委員長、佐藤委員、大澤委員 （事務局２名） 小保方課長、輿石環境企画係長
傍聴人数	なし
会議の議題	議題「グリストラップについて」
会議資料の内容	１．　次第 ２．　グリストラップ現況報告 ３．　現地調査写真 ４．　欠席委員意見書
会議における議事の経過及び発言の要旨	【第６回伊勢崎市水質に関する検討委員会】 １　開会 ２　委員長あいさつ ３　議題「グリストラップについて」 ※質問や委員のご意見は以下のとおり。 委　員　資料記載のとおり６施設のグリストラップを調査した。 チェック項目は、設置場所や寸法、容量、グリストラップの仕切りなどとなっており、写真を資料に添付している。 設置場所は全て屋外となっており、厨房内に設置されている施設はなかった。 調理の状況は、全施設週５日、昼食とおやつの２食となっている。 日常清掃の状況は、全ての施設が月に1度くらいの頻度で労務技士がグリストラップの蓋を開けて、溜まっている油を取り除いているということであった。

		第1槽の残渣処理は構造上作業が難しいためかどこの施設もやっていなかった。ただし、油脂で固まっているような施設はなく、屋外ということもあり臭いは問題となっていなかった。 別の委員の精査では、２施設を選んで１つに自動化装置を付け、１つには付けずに、それぞれ水質測定等をするのがよいのではないかということであった。 具体的には、負荷が同等の第三保育所と第四保育所を選定し、両施設ともグリストラップの清掃をした上で、第三保育所に自動化システムを設置し、第四保育所は設置せずに実証実験をすることで、効果がわかるのでないかとのことであった。
	委　　員	浄化槽に接続している施設は。
	事務局	境いよく保育所が浄化槽、それ以外は下水道となっている。
	委　　員	油が少ないということだが、夏は油が固まりにくいということも影響しているのではないか。
	委　　員	それもあると思うが、一番多い施設でも1日２４０食なので、飲食店と比べると負荷は軽い。
	委　　員	鹸化システムを入れることで、ＢＯＤの負荷が上がるので、浄化槽に入れるのは慎重に考えるべきという意見が前回合った。
	委　　員	鹸化システムは油を分解するわけではない。
	委　　員	あくまで懸濁した状態で流れる。 バクテリアが分解しやすいかたちなので、自然分解されるが、水質測定を行えばＢＯＤが高い状態化もしれない。 油を取り除く作業の軽減にはなる。
	委　　員	管のつまりなどマイナスの面を鹸化システムで改善することができるので、メリットはあると思う。
	委　　員	第三保育所に設置し、第四保育所には設置せず、効果を比較するということでよいか。
	一同	異議なし。
	委　　員	第三保育所と第四保育所の場所はどこか。
	委　　員	第三保育所は昭和町、第四保育所は寿町。
	委　　員	測定項目については、前回６項目という話があった。
	委　　員	測定する委員がどこまでできるか確認したい。
	委　　員	採水は委員でもできると思うが、分析は専門機関ということになると思う。

	委　　員	温度とｐＨくらいならできると思う。
	委　　員	ＢＯＤとＣＯＤを両方図る必要があるのかどうかについて、事務局にも意見を伺いたい。
	事務局	前回の会議では、ＢＯＤだけでなく、ＣＯＤも測定してはどうかという委員からの意見があった。 どちらも主に有機物の指標だが、ＢＯＤは５日間でどれだけ微生物が酸素を消費したかを測定する。極端な話をすると、生物が分解できない有機物はいくらあってもＢＯＤは上がらないということになる。 一方、ＣＯＤは化学物質によって分解した量を測定するので、生物が分解しにくい有機物も測定結果として反映されやすい。そのため、ＣＯＤも測定してはどうかという意見があったと思われる。
	委　　員	水温、ｐＨ、ＳＳ、ＢＯＤ、ＣＯＤ、ノルマルヘキサン抽出物質を測定することで調整したい。 本日の欠席委員から提出された資料の説明を事務局からお願いしたい。
	事務局	委員から提出のあった資料をそのまま印刷して用意している。 先ほど設置するとした施設は下水道なので結果的に関係がなくなったが、浄化槽の施設に鹸化システムを設置するリスクについて記載されている。 浄化槽はグリストラップなどで油が物理的に除去されることを想定して設計されているため、油を鹸化して取り除かずに浄化槽に流した場合に、浄化槽に想定外の負荷がかかることになり、水処理に影響が出る可能性があり、浄化槽施設への設置には慎重な検討が必要との意見となっている。
	委　　員	確かにＢＯＤだけで評価すれば高い結果になる可能性はあるが、先ほどの意見にもあったとおり配管の詰まりがなくなるなどのメリットもある。 総合的に評価することが大事だ。
	委　　員	グリストラップからの排水は他の雑排水と混ざって処理される。食洗器などは強アルカリなので、ｐｈは上がるが、他の雑排水も入るので、最終的には薄まる。
	委　　員	合成洗剤などは中性のものが多いのでは。
	委　　員	業務用では強い洗剤を使って化学的な力で汚れを落とす。 今回調査した施設が洗浄機を使っているかは確認しなかったが、使っていれば影響がでる可能性がある。
	委　　員	自動洗浄装置を稼働する前から水質測定をすることとしたい。

	委　　員	設置する委員はできれば週1回、3ヵ月くらいは測定したいと言っていた。
	委　　員	公費で測定するため、予算にも限界があると思う。 前回の会議では月１回ということだったので、月１回ということにしたい。委員が不足と思う部分について、独自に測定することは問題ないと思う。
	委　　員	いつから実施するのか。 予算はあるのか。
	委　　員	事務局にお伺いしたい。
	事務局	今年度の予算はない。 今が来年度の予算を財政部局に要求する時期なので、ここで要求して予算がつけば、来年度から実施できる。
	委　　員	飲食店なら月々のリース料という形になるが、設置する委員からは、当初の3か月間は自分の負担で対応できると言っていた。
	委　　員	そういった申し出もあるが、来年度当初予算に計上してもらい、来年４月以降の実施を予定したい。 ３か月間のデータを採り、ＢＯＤだけではなく、総合的な評価をしたい。
	４　閉会	